

27 12.2

昭和15年 早業各位

小笠原昭男

拝啓 初冬の候 益々清秋の段 又度におはします。

改般、同期 村野井徹夫大兄より叙勳について一筆の
長瀬是翁、一文を認めました。

去る、27年10月27日付、農水省大臣官房秘書課より、特定
記録より、11月1日付 旭日小授章を授与する旨の決定あり。

11月1日通知を以て、依違を並べた陛下謁見のため、配遇者
滞りの上 出都願い後、この内容書信でしん。

当日、11日は前日と異なり、午後自元より、漢宮院
経典の上 10時半 農水省本館へ、10時50分より 依違を開始 農水
大臣より 勲記と勲章を授与され、昼食後、11時半 皇居参内
約15分間の“春秋の間”での陛下謁見後、記念写真をとり、
退来致はしん。

小笠の功労概要は、農産物加工業 振興功勞で、新秋の
農水相対象者は、旭日章 52名 瑞宝章 26名 計78名
でしん。

同業の同僚(北海道・札幌・津別)では 9年ぶりの交際で
新年を迎え勤務は、送り合せて感謝しております。

昭和45年11月 威風一尚卒業、柔道少年は奨を蒙りて上京
いずみ又卒業し、日本甜菜製糖 帯広製糖所 総務課に配属、以来
5年間勤務 現在に至っております。

結婚して4ヶ月、次女は嫁ぎ、15年間 働いた方(通算で45)
は本年春他界、夫婦二人になりました。

高校3年間で培った、白墨總で残された人生を全うして
いましてあります。

最後になりましたが、皆様方のご健康 ご活躍を祈り申し上
げます。

敬具。